

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス大崎		
○保護者評価実施期間	2024年 11月20日		～ 2024年 12月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アプリ大崎では中高生を対象とした放課後等デイサービスです。「就労につなぐ」をテーマに就労に特化したジョブトレーニングを毎利用時取り組んでおります。	2か月に1度、ジョブトレーニングの内容を変更しております。2か月で内容の定着を目指して支援しています。また、ご利用者ひとりひとりの成長に合わせて集団・小集団に分け、ご利用者の成長にあったジョブトレーニングを用意しております。	PECSを使ったジョブトレーニングの取り組みを考えております。個別に言語聴覚士が1コマ20分程度のPECSレッスンをしており、レッスン内容とジョブトレーニングを掛け合わせたジョブトレーニングを実施していきたいです。
2	学校がない、午前中からおご利用の日は外出企画を立てて実施しております。	普段、あまりお出かけができないご利用者もいらっしゃる中で、ご利用者にとって初めての体験やお金の使い方、お店などに並ぶルールや時間管理など様々な体験をしていただけ外出企画を考えております。	同法人の3施設のアプリ児童デイサービスで合同運動会や、同法人の介護通所サービスの高齢者のご利用者たちとレクリエーションなどが法人全体を巻き込んだレクリエーションを実施していきたいです。
3	LST(ライフスキルトレーニング)を取り組んでいます。	個別支援計画の課題を具体化し、全職員が公平な評価ができるようにしております。また、6か月まとめて評価するのではなく、毎利用時評価し、成功回数、失敗回数の合計を6か月分数値化します。曖昧な評価ではなく、数値的な根拠に基づいてご家族にフィードバックを行っております。	職員の研修などを行い、課題の支援内容の工夫や引き出しを増やして成功回数を上げていきたいと思っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的な支援内容の研修を実施していきたい。	個人でABA、PECSの研修など受けており、職員間で支援の方法や差が生じてしまう。	年間の研修計画にABAやPECSなどの研修を実施していきます。
2	緊急災害時の対応方法をご家族に周知していきたい。	契約時にご家族様に緊急災害時の対応方法をお伝えしておりますが、それ以降は伝えていませんでした。	毎月10月にご家族にHUGシステムにてお伝えします。
3	父母会・交流会の実施をする。	コロナ緊急事態宣言以降、父母会・交流会を実施していません。	毎年10月に父母会または交流会を実施します。